

家庭系ごみに関する市民アンケート調査結果報告書

令和8年3月

枚方市

目次

1. アンケート調査の目的.....	1
2. アンケート調査の概要.....	1
3. アンケート調査の結果.....	2
1 4 Rについて	2
(1) ごみの分別や4 Rへの関心について	2
(2) 4 Rの行動について	3
2 リチウムイオン電池等について	4
(1) リチウムイオン電池等による発火事故の認識について.....	4
(2) 火災事故の原因品目に含まれるようなリチウムイオン電池等をこれまでどのように廃棄していましたか。 .5	
3 リユース品について	6
(1) リユース品の購入・売却の経験について	6
(2) 購入したリユース品について	7
(3) 売却したリユース品について	7
(4) リユース品の購入・売却を利用しなかった理由について	8
4 プラスチックごみについて.....	9
(1) プラスチックごみ問題について	9
(2) プラスチックごみを減らすためのあなたの行動について	10
(3) 小売店等のプラスチックごみ削減の取り組みへの協力について	11
(4) プラスチック製品廃棄物のリサイクルについて	12
(5) 「どちらかというと協力したくない」または「分別するべきではない」と回答された方はその理由について.....	13
5 食品ロスについて.....	14
(1) あなたの食品ロスについて.....	14
(2) 食品ロス削減の行動について	15
(3) スーパーや飲食店などの食品ロス削減の取り組みへの協力について	16
6 紙ごみについて	17
(1) 古紙の排出方法について	17
(2) 再生資源集団回収について.....	19
(3) 再生資源集団回収を利用しない理由	20
7 さらなるごみの分別や4 Rについて	21
(1) ごみの分別や4 Rを進めていくために、どのような枚方市の施策が必要だと思いますか。	21
(2) その他ごみに関するご意見がありましたら、ご自由にご記入ください。	22
あなたのことについて.....	24
(1) あなたの家の同居人数について	24
(2) あなたの家の住居形態について	24
(3) 枚方市にお住まいになられて何年になりますか。	25
(4) あなたのご職業について	25
(5) ご家庭で料理したものを食べる機会はどれくらいありますか。	26

1. アンケート調査の目的

枚方市では、安全で安定的なごみ処理体制を確保することを基本に、ごみの減量やリサイクルなどの様々な取り組みを推進しているところです。

今回、次期一般廃棄物処理基本計画の策定に向けて、今後のごみ減量・リサイクル施策の検討などの基礎資料として活用するため、市民のみなさまに対してアンケート調査を行いました。

2. アンケート調査の概要

アンケート調査の概要を以下に示す。

アンケート実施概要

項目	内容
調査対象	枚方市在住の市民 1,997人 枚方市市政モニター 513人
調査項目	1 4Rについて 2 リチウムイオン電池等について 3 リユース品について 4 プラスチックごみについて 5 食品ロスについて 6 紙ごみについて 7 さらにごみの分別や4Rについて
調査方法	郵送による配布・回収(Web回答可)
調査期間	枚方市在住の市民 令和7年7月4日(金)～8月1日(金) 枚方市市政モニター 令和7年7月21日(月)～8月6日(水)
回収率	一般市民 1,016/1,997人(51%) 市政モニター 426/513人(83%)

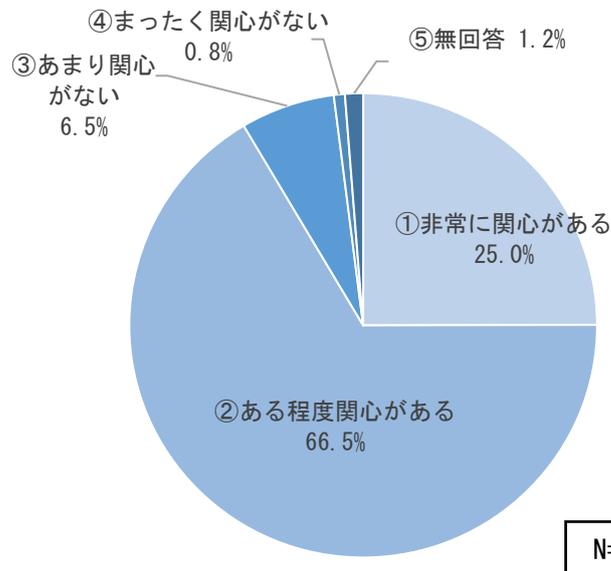
3. アンケート調査の結果

1 4Rについて

(1) ごみの分別や4Rへの関心について

[ごみの分別や4Rについて、あなたはどの程度関心がありますか。あてはまるものを1つ選んでください。]

No.	設問	件数	割合
1	非常に関心がある	360	25.0%
2	ある程度関心がある	959	66.5%
3	あまり関心がない	94	6.5%
4	まったく関心がない	11	0.8%
5	無回答	18	1.2%
6	合計	1,442	100.0%

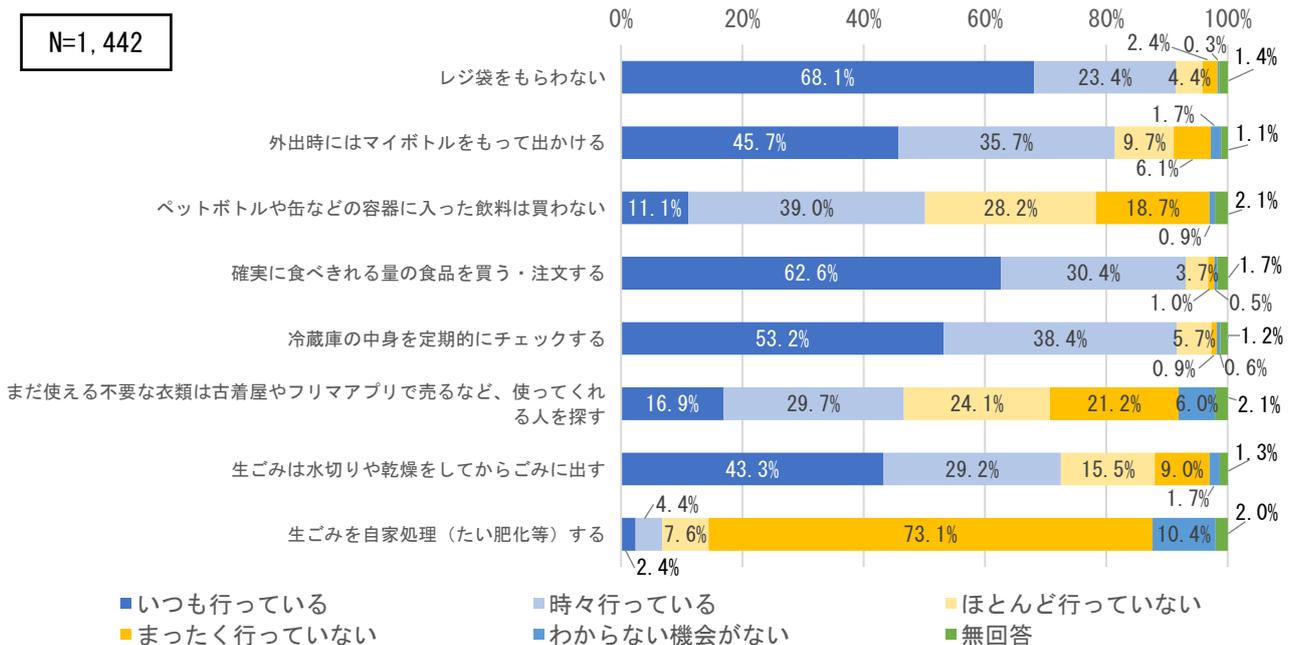


「非常に関心がある」及び「ある程度関心がある」が 91.5%であり、関心を持っている人の割合が高い結果となっている。

(2) 4Rの行動について

[次の4Rの行動について、現在、あなたはどの程度取り組んでいますか。あてはまるものを1つずつ選んでください。]

	いつも行っている		時々行っている		ほとんど行っていない		まったく行っていない		わからない機会がない		無回答		合計	
	件数	割合	件数	割合	件数	割合	件数	割合	件数	割合	件数	割合	件数	割合
レジ袋をもらわない	982	68.1%	338	23.4%	63	4.4%	34	2.4%	5	0.3%	20	1.4%	1,442	100%
外出時にはマイボトルをもって出かける	659	45.7%	515	35.7%	140	9.7%	88	6.1%	24	1.7%	16	1.1%	1,442	100%
ペットボトルや缶などの容器に入った飲料は買わない	160	11.1%	562	39.0%	406	28.2%	270	18.7%	13	0.9%	31	2.1%	1,442	100%
確実に食べきれる量の食品を買う・注文する	903	62.6%	438	30.4%	54	3.7%	15	1.0%	7	0.5%	25	1.7%	1,442	100%
冷蔵庫の中身を定期的にチェックする	767	53.2%	554	38.4%	82	5.7%	13	0.9%	8	0.6%	18	1.2%	1,442	100%
まだ使える不要な衣類は古着屋やフリマアプリで売るなど、使ってくれる人を探す	244	16.9%	428	29.7%	348	24.1%	306	21.2%	86	6.0%	30	2.1%	1,442	100%
生ごみは水切りや乾燥をしてからごみに出す	624	43.3%	421	29.2%	224	15.5%	130	9.0%	24	1.7%	19	1.3%	1,442	100%
生ごみを自家処理(たい肥化等)する	35	2.4%	64	4.4%	110	7.6%	1,054	73.1%	150	10.4%	29	2.0%	1,442	100%



「いつも行っている」または「時々行っている」の回答を、その行動に取り組んでいると捉えると、『レジ袋をもらわない』は91.5%、『外出時にはマイボトルをもって出かける』は81.4%、『ペットボトルや缶などの容器に入った飲料は買わない』は50.1%、『確実に食べきれる量の食品を買う・注文する』は93.0%、『冷蔵庫の中身を定期的にチェックする』は91.6%の回答者が取り組んでおり、前回のアンケート調査時(平成27年度)と比較して、取り組んでいる割合が増加している。

一方で、『まだ使える不要な衣類は古着屋やフリマアプリで売る』は46.6%、『生ごみは水切りや乾燥をしてからごみに出す』は72.5%、『生ごみを自家処理(たい肥化等)する』は6.9%の回答者が取り組んでおり、前回のアンケート調査時と比較して取り組んでいる割合が減少している。

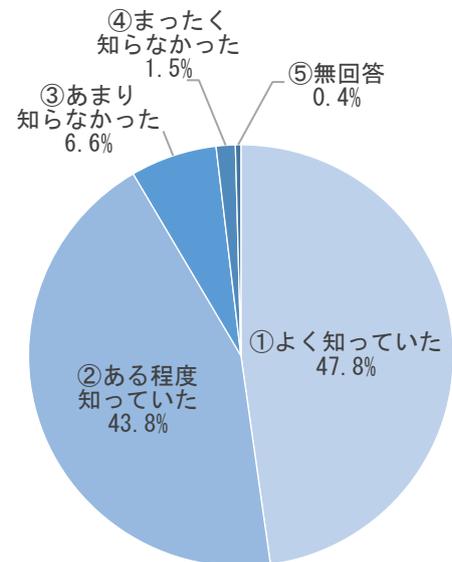
※前回調査結果(枚方市ごみの減量・リサイクル等に関する市民・事業者アンケート調査報告書(平成28年3月)より)
 取り組んでいる割合: 「レジ袋をもらわない」77.4%、「外出時にはマイボトルをもって出かける」76.2%、
 (N=1,035) 「ペットボトルや缶などの容器に入った飲料は買わない」36.8%、
 「確実に食べきれる量の食品を買う・注文する」79.0%、「冷蔵庫の中身を定期的にチェックする」88.4%、
 「まだ使える不要な衣類は古着屋やフリマアプリで売るなど、使ってくれる人を探す」56.1%、
 「生ごみは水切りや乾燥をしてからごみに出す」89.7%、「生ごみを自家処理(たい肥化等)する」9.7%

2 リチウムイオン電池等について

(1) リチウムイオン電池等による発火事故の認識について

[リチウムイオン電池等の誤った廃棄が火災事故の原因となることを知っていましたか。あてはまるものを1つ選んでください。]

No.	設問	件数	割合
1	よく知っていた	689	47.8%
2	ある程度知っていた	631	43.8%
3	あまり知らなかった	95	6.6%
4	まったく知らなかった	21	1.5%
5	無回答	6	0.4%
6	合計	1,442	100.0%



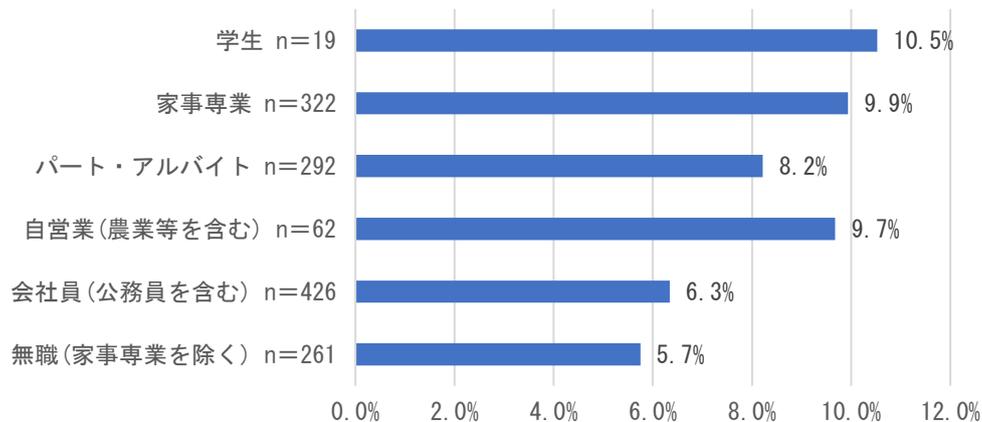
「よく知っていた」及び「ある程度知っていた」という回答が91.6%を占める結果となっている。

N=1,442

<職業別クロス集計>

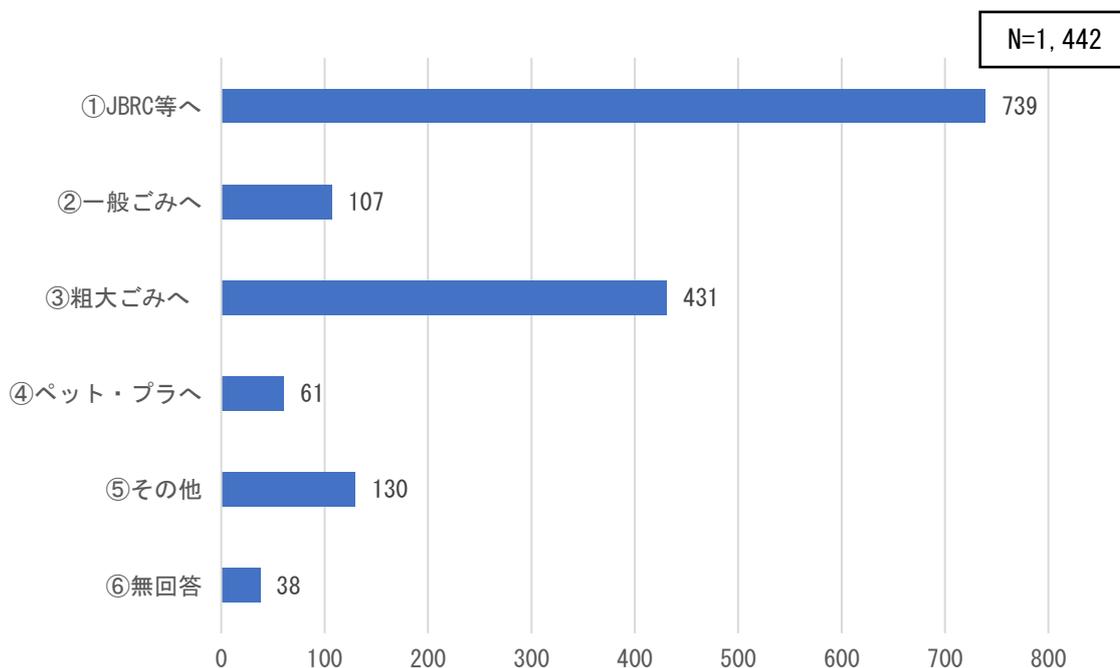
職業別のクロス集計結果からみると、学生・家事専業において「あまり知らなかった・まったく知らなかった」と回答している割合が比較的、高い傾向となっている。

あまり知らなかった・まったく知らなかったと回答した割合



(2) 火災事故の原因品目に含まれるようなリチウムイオン電池等をこれまでどのように廃棄していましたか。あてはまるものをすべて選んでください。

No.	設問	件数
1	JBRC の回収ボックスや市の清掃工場の窓口へ出していた	739
2	一般ごみとして、市の分別収集へ出していた	107
3	粗大ごみとして、市の分別収集へ出していた	431
4	ペットボトル・プラスチック製容器包装として、市の分別収集へ出していた	61
5	その他	130
6	無回答	38



その他の回答（一部抜粋）

- ・捨てたことがない
- ・捨て方がわからず、保管している

正しい排出方法である「JBRC の回収ボックスや市の清掃工場の窓口へ出していた」の回答が約半数となっていた。

一方で、それ以外の方法で排出している回答が多く、特に、粗大ごみとして排出している割合が大きい結果となっていた。

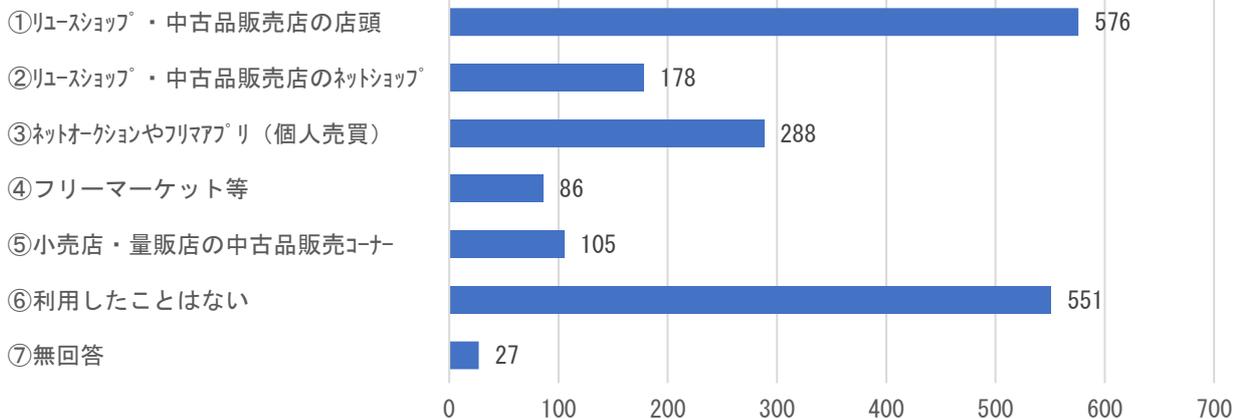
3 リユース品について

(1) リユース品の購入・売却の経験について

[過去1年間に、あなたはリユース品を購入・売却しましたか。あてはまるものをすべて選んでください。]

No.	設問	件数
1	リユースショップ・中古品販売店の店頭で購入・売却をした	576
2	リユースショップ・中古品販売店のネットショップで購入・売却をした	178
3	ネットオークションやフリマアプリ（個人売買）で購入・売却をした	288
4	フリーマーケット等で購入・売却をした	86
5	小売店・量販店の中古品販売コーナーで購入をした	105
6	利用したことはない	551
7	無回答	27

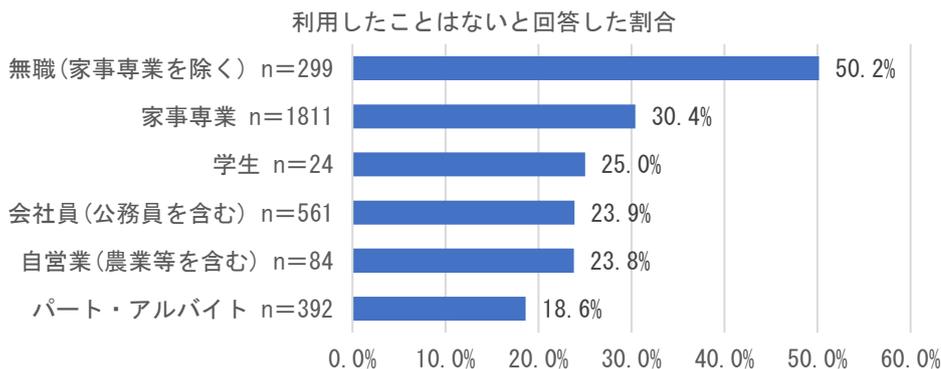
N=1,442



過去1年間にリユース品を購入または売却したことのある回答者の割合は、59.7%であり、購入・売却の方法としては、リユースショップ・中古品販売店の店頭が最も多い結果となっている。
一方で、過去1年間にリユース品を利用したことはない回答者の割合は38.2%となっている。

<職業別クロス集計>

職業別のクロス集計結果からみると、「無職(家事専業を除く)」「家事専業」において「利用したことはない」と回答している割合が比較的、高い傾向となっている。



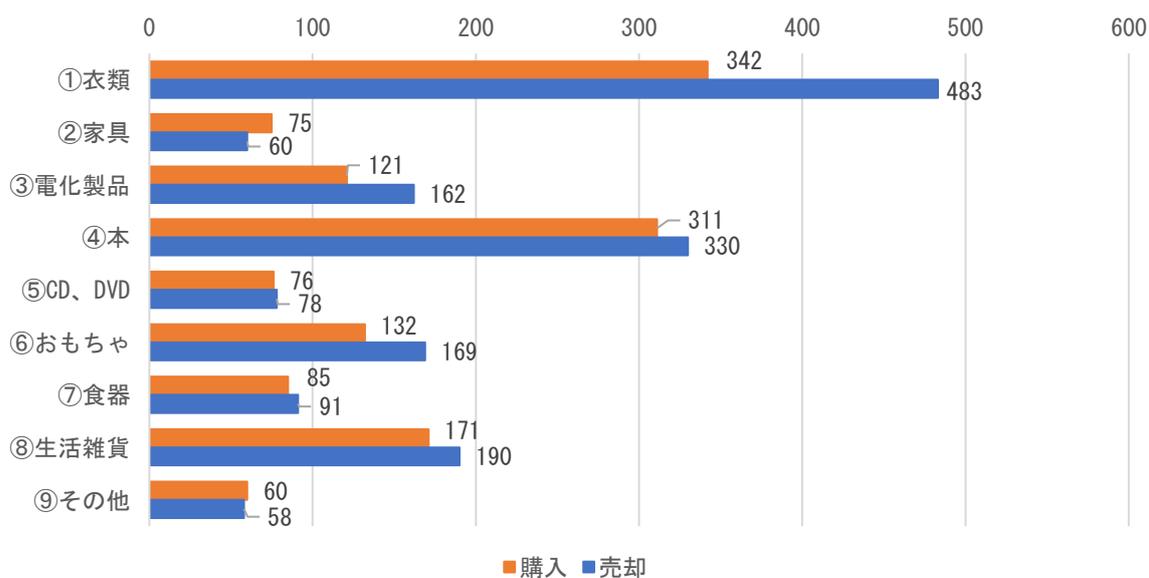
(2) 購入したリユース品について[過去1年間にリユース品を購入した方は、何を購入しましたか。あてはまるものをすべて選んでください。]

(3) 売却したリユース品について[過去1年間にリユース品を売却した方は、何を売却しましたか。あてはまるものをすべて選んでください。]

No.	設問	購入		売却	
		件数	割合	件数	割合
1	衣類	342	24.9%	483	29.8%
2	家具	75	5.5%	60	3.7%
3	電化製品	121	8.8%	162	10.0%
4	本	311	22.7%	330	20.4%
5	CD、DVD	76	5.5%	78	4.8%
6	おもちゃ	132	9.6%	169	10.4%
7	食器	85	6.2%	91	5.6%
8	生活雑貨	171	12.5%	190	11.7%
9	その他	60	4.4%	58	3.6%

(2) / (3) リユース品の購入/売却について

N=861



その他の回答

- ・カードゲーム ・ゲーム ・バック ・押しグッズ ・バイク用品 ・自動車部品 ・アクセサリ
- ・写真 ・プリンター備品 ・インクカートリッジ ・ゴルフ用品 ・ 아이폰 ・アウトドア用品
- ・スマホ ・購入はしていない ・売却はしていない ・年ですのですてることが多い

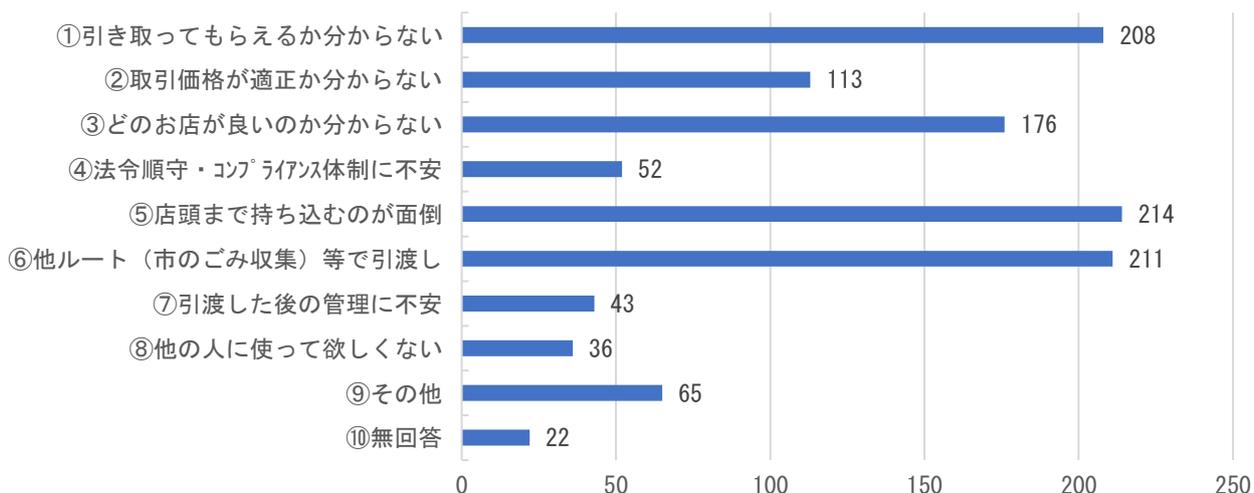
リユース品の購入品意欲が高いものとして、「衣類」、「本」、「生活雑貨」、「おもちゃ」の順となり、売却の意向があるものとしても同様に、「衣類」、「本」、「生活雑貨」、「おもちゃ」の順に高い結果となった。

(4) リユース品の購入・売却を利用しなかった理由について

[リユース品の購入・売却を利用しなかった理由を教えてください。あてはまるものをすべて選んでください。]

No.	設問	件数
1	引き取ってもらえるか分からないから	208
2	取引価格が適正か分からないから	113
3	どのお店が良いのか分からないから	176
4	法令順守・コンプライアンス体制に不安があるから	52
5	店頭まで持ち込むのが面倒だから	214
6	他のルート（枚方市のごみ収集）等で引渡しできるから	211
7	引渡した後の管理に不安があるから	43
8	他の人に使って欲しくないから	36
9	その他	65
10	無回答	22

N=551



その他の回答（一部抜粋）

- ・他の人が使っていたものを購入することに抵抗がある。
- ・人の使ったものに抵抗がある。どんな使い方や管理方法などが解らないから。
- ・以前、利用してからその関係の電話が自宅によくかかってくるようになった。個人情報が出てくるのではと思うのと、単に望んでもいない電話の対応が面倒。
- ・電化製品は5年以内とか、物の状態が良く無いので売るのが躊躇してしまう。
- ・親族に譲っているため ・機会がない ・手間がかかる

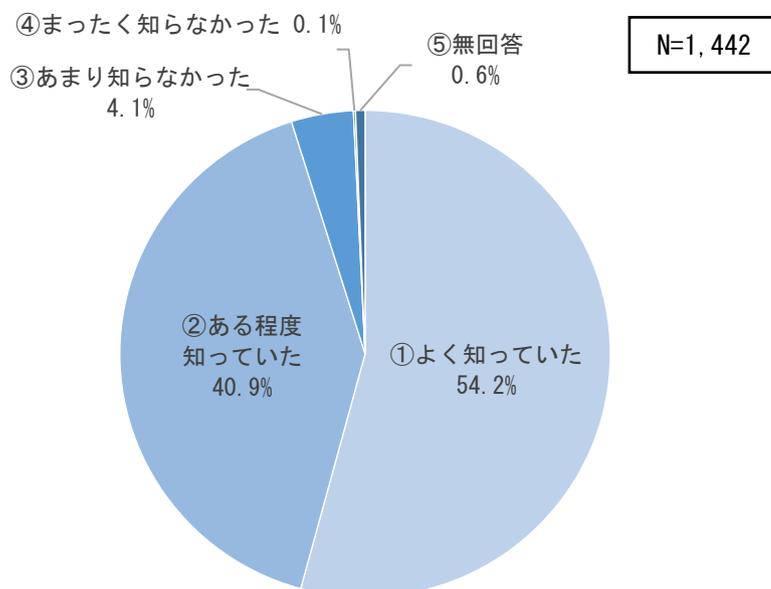
リユース品を利用しなかった理由としては、「引き取ってもらえるか分からないから」、「取引価格が適正か分からないから」、「どのお店が良いのか分からないから」、「法令順守・コンプライアンス体制に不安があるから」及び「引渡した後の管理に不安があるから」といった、リユースショップを利用するにあたっての疑問点や不安感に起因する理由が51.9%、「店頭まで持ち込むのが面倒だから」及び「他のルート（枚方市のごみ収集）等で引渡しできるから」といった利便性に起因する理由が約37.3%という結果となっている。

4 プラスチックごみについて

(1) プラスチックごみ問題について

[あなたはプラスチックごみが問題となっていることを知っていましたか。あてはまるものを1つ選んでください。]

No.	設問	件数	割合
1	よく知っていた	782	54.2%
2	ある程度知っていた	590	40.9%
3	あまり知らなかった	59	4.1%
4	まったく知らなかった	2	0.1%
5	無回答	9	0.6%
6	合計	1,442	100.0%



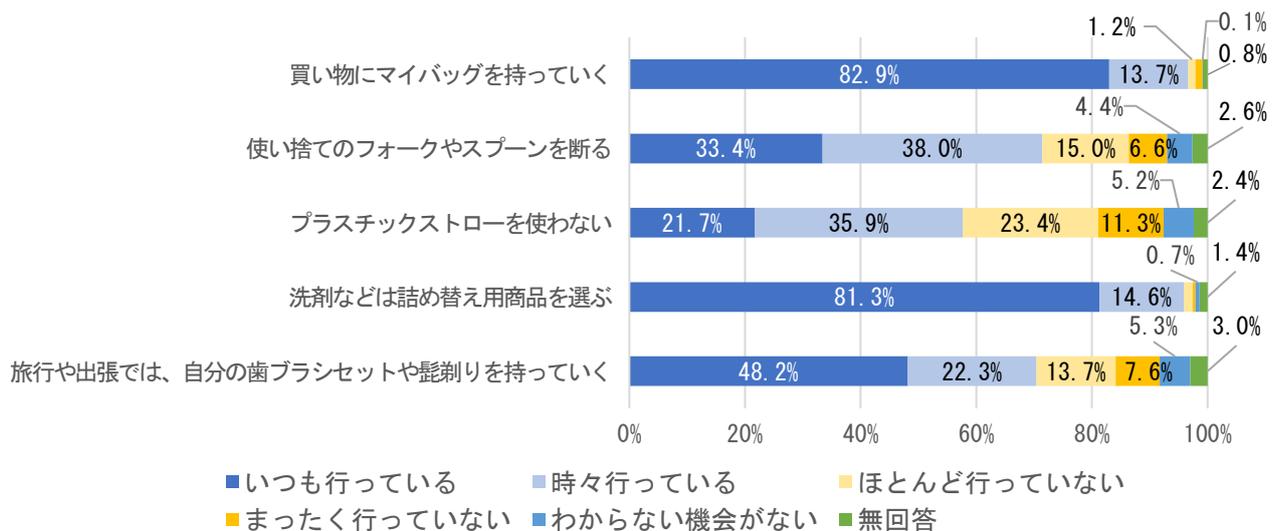
プラスチックごみの問題について、「よく知っていた」または「ある程度知っていた」と回答した割合が95.1%という結果となっている。

(2) プラスチックごみを減らすためのあなたの行動について

[プラスチックごみを減らすためのあなたの行動を教えてください。あてはまるものを1つずつ選んでください。]

	いつも行っている		時々行っている		ほとんど行っていない		まったく行っていない		わからない機会がない		無回答		合計	
	件数	割合	件数	割合	件数	割合	件数	割合	件数	割合	件数	割合	件数	割合
買い物にマイバッグを持っていく	1,196	82.9%	197	13.7%	18	1.2%	17	1.2%	2	0.1%	12	0.8%	1,442	100%
使い捨てのフォークやスプーンを断る	481	33.4%	548	38.0%	216	15.0%	95	6.6%	64	4.4%	38	2.6%	1,442	100%
プラスチックストローを使わない	313	21.7%	518	35.9%	338	23.4%	163	11.3%	75	5.2%	35	2.4%	1,442	100%
洗剤などは詰め替え用商品を選ぶ	1,173	81.3%	210	14.6%	22	1.5%	7	0.5%	10	0.7%	20	1.4%	1,442	100%
旅行や出張では、自分の歯ブラシセットや髭剃りを持っていく	695	48.2%	321	22.3%	197	13.7%	110	7.6%	76	5.3%	43	3.0%	1,442	100%

N=1,442

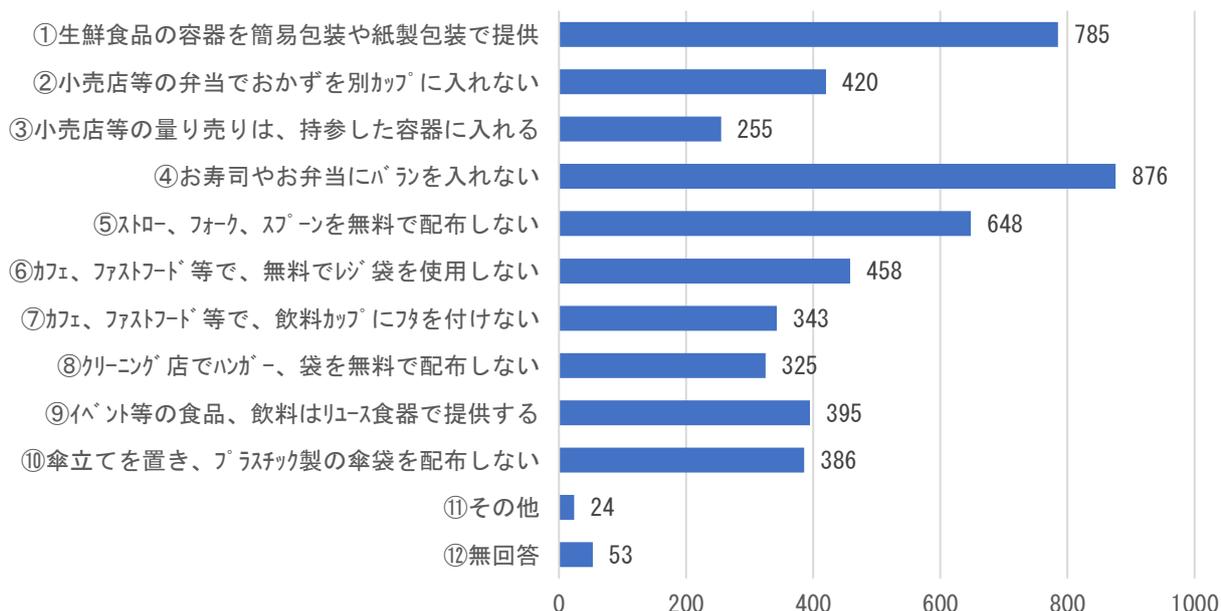


プラスチックごみを減らすための行動については、いずれの行動も取り組んでいる回答者の割合は、高い水準となっている。特に、「買い物にマイバッグを持っていく」は96.6%、「洗剤などは詰め替え用商品を選ぶ」は95.9%と、大部分の回答者が日常的に取り組んでいる結果となっている。

(3) 小売店等のプラスチックごみ削減の取り組みへの協力について
 [小売店等が実施するプラスチックごみ削減の取り組みについて、あなたが賛同するものはありますか。あてはまるものをすべて選んでください。]

No.	設問	件数
1	生鮮食品の容器を、簡易包装（ビニール袋、ノントレイ）や紙製包装で提供する	785
2	小売店等の弁当容器の中で、おかずを別のカップに入れない	420
3	小売店等の量り売りは、持参した容器に入れる	255
4	お寿司やお弁当にバラ（緑のギザギザ）を入れない	876
5	ストロー、フォーク、スプーンを無料で配布しない	648
6	カフェ、ファストフード店等で、無料でレジ袋を使用しない	458
7	カフェ、ファストフード店等で、飲料カップにフタを付けない	343
8	クリーニング店でハンガー、袋を無料で配布しない	325
9	イベントやお祭り会場の食品、飲料はリユース食器で提供する	395
10	傘立てを置き、プラスチック製の傘袋を配布しない	386
11	その他	24
12	無回答（該当なし）	53

N=1,442

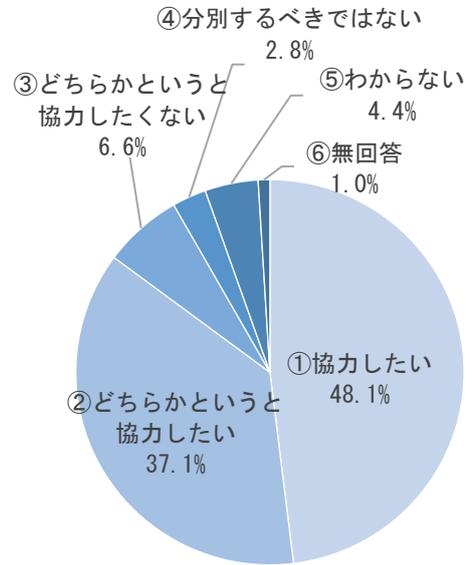


小売店等が実施するプラスチックごみ削減の取り組みで賛同するものとしては、「お寿司やお弁当のバラを入れない」、「生鮮食品の容器を、簡易包装や紙製包装で提供する」、「ストロー、フォーク、スプーンを無料で配布しない」の順に高い結果となっている。一方、「小売店の量り売りは、持参した容器に入れる」等の取り組みについては賛同者が少ない結果となった。

(4) プラスチック製品廃棄物のリサイクルについて

[プラスチック資源の活用を促進するため、新たにプラスチック製品廃棄物のリサイクル処理が求められています。今後、枚方市でプラスチック製品廃棄物の分別収集を開始することとなった場合、あなたは、どの程度協力できますか。あてはまるものを1つ選んでください。]

No.	設問	件数	割合
1	協力したい	693	48.1%
2	どちらかというと協力したい	535	37.1%
3	どちらかというと協力したくない	95	6.6%
4	分別するべきではない	41	2.8%
5	わからない	64	4.4%
5	無回答	14	1.0%
6	合計	1,442	100.0%



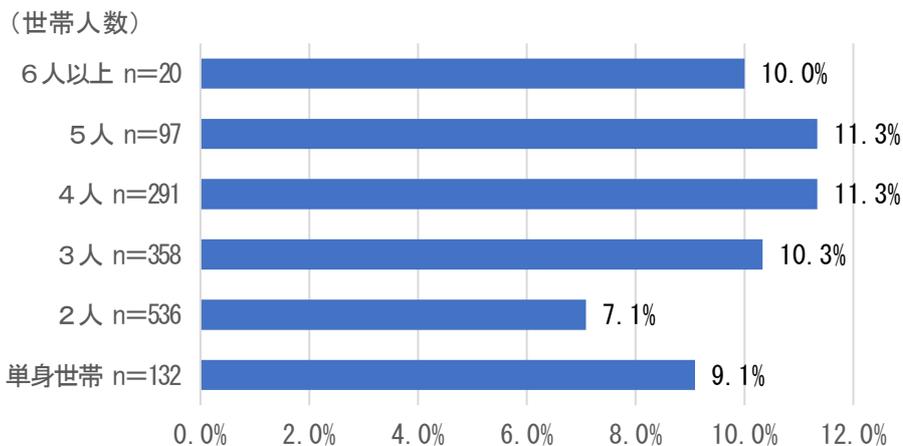
N=1,442

枚方市でプラスチック製品廃棄物の分別収集を開始することとなった場合には、「協力したい」または「どちらかというと協力したい」という回答の割合が 85.2%となっている。

<世帯別クロス集計>

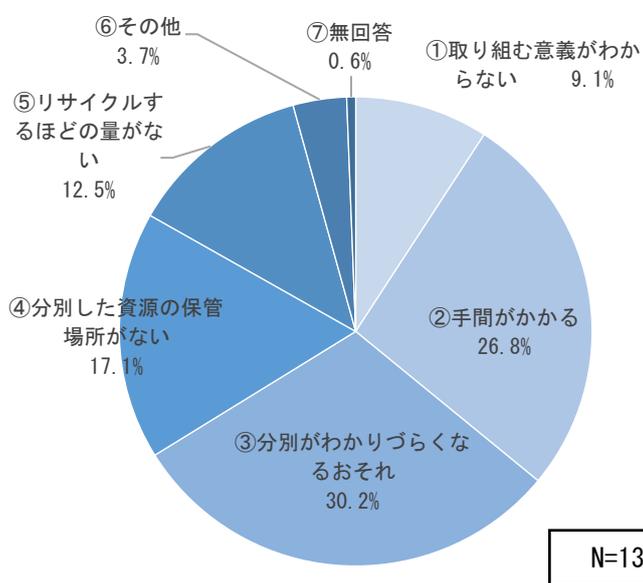
世帯別のクロス集計結果を見ると、「協力したくない・分別するべきではない」と回答している割合は、全世帯でほぼ同じような割合となっている。

どちらかというと協力したくない・分別するべきではないと回答した割合



(5) 「どちらかというとな協力したくない」または「分別すべきではない」と回答された方はその理由としてあてはまるものをすべて選んでください。

No.	設問	件数
1	取り組む意義がわからない	30
2	手間がかかる	88
3	分別がわかりづらくなるおそれがある	99
4	分別した資源の保管場所がない	56
5	リサイクルするほどのごみ量がない	41
6	その他	12
7	無回答	2



その他の回答（一部抜粋）

- ・分別にあたって、汚れを取るために水や洗剤を大量に使うことまでする必要はない
- ・分別しても最終的には燃やされているのであれば無駄だと感じる

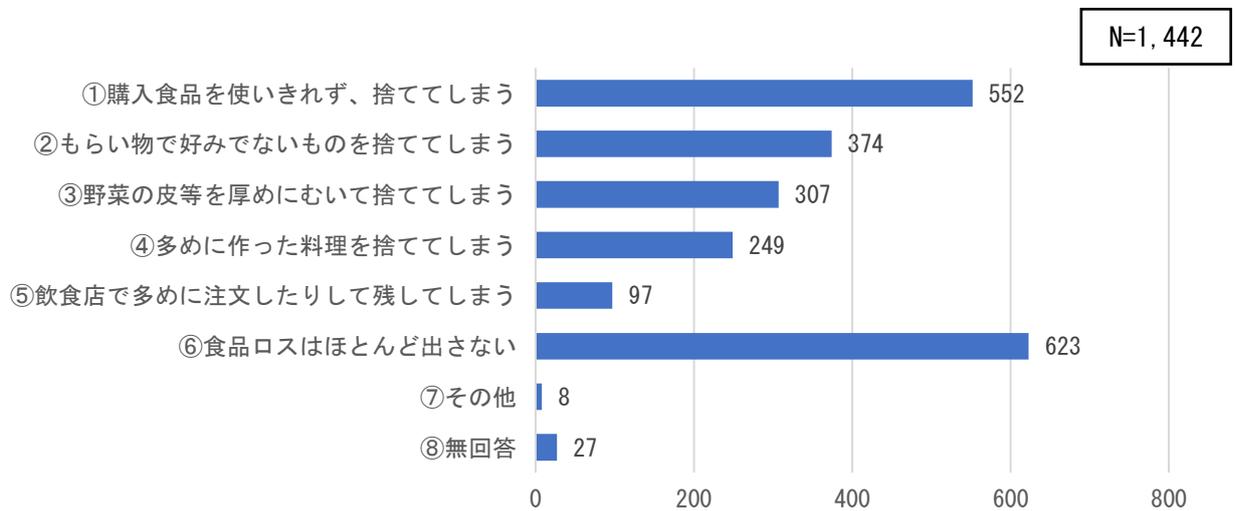
分別に協力的でない理由としては、「手間がかかる」や「分別がわかりづらくなるおそれがある」の回答割合が大きく、ごみの分別の煩雑化や複雑化を懸念している傾向にある。

5 食品ロスについて

(1) あなたの食品ロスについて

【あなたの普段の生活で出る食品ロスについて教えてください。あてはまるものすべてを選んでください。】

No.	設問	件数
1	購入した食品を使いきれず、捨ててしまうことがある	552
2	もらい物で好んでないものを捨ててしまうことがある	374
3	野菜の皮などを厚めにむいて、本来食べられる部分を捨ててしまうことがある	307
4	多めに作った料理を捨ててしまうことがある	249
5	飲食店で多めに注文したり、思ったより量が多くて残してしまうことがある	97
6	食品ロスはほとんど出さない	623
7	その他	8
8	無回答	27

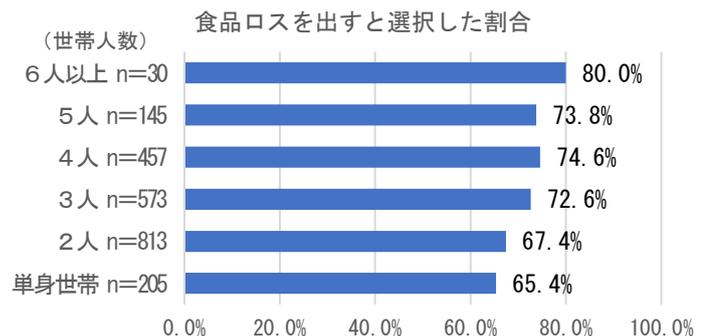


普段の生活で食品ロスが発生していると認識している回答者の割合は、54.9%で、要因としては多い順に、「購入した食品を使いきれず、捨ててしまうことがある」、「もらい物で好んでないものを捨ててしまうことがある」、「野菜の皮などを厚めにむいて、本来食べられる部分を捨ててしまうことがある」、「多めに作った料理を捨ててしまうことがある」という結果となっている。

一方で「食品ロスはほとんど出さない」という回答者の割合は、43.2%という結果となっている。

<世帯別クロス集計>

世帯別のクロス集計結果からみると、世帯人数が増えるにつれて、『食品ロスを出す』と選択した割合が増加する傾向となっている。

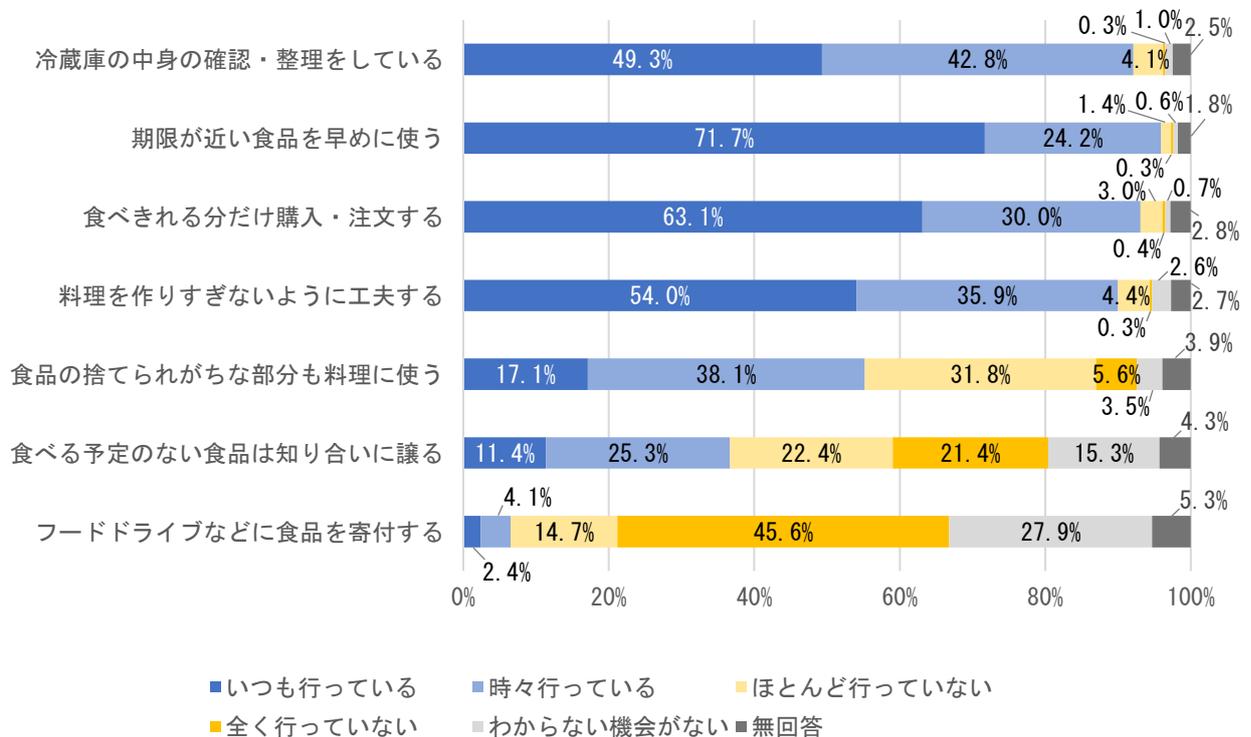


(2) 食品ロス削減の行動について

[あなたの食品ロスを減らすための行動を教えてください。あてはまるものを1つずつ選んでください。]

	いつも行っている		時々行っている		ほとんど行っていない		全く行っていない		わからない機会がない		無回答		合計	
	件数	割合	件数	割合	件数	割合	件数	割合	件数	割合	件数	割合	件数	割合
冷蔵庫の中身の確認・整理をしている	711	49.3%	617	42.8%	59	4.1%	5	0.3%	14	1.0%	36	2.5%	1,442	100%
期限が近い食品を早めに使う	1,034	71.7%	349	24.2%	20	1.4%	5	0.3%	8	0.6%	26	1.8%	1,442	100%
食べきれ的分だけ購入・注文する	910	63.1%	432	30.0%	43	3.0%	6	0.4%	10	0.7%	41	2.8%	1,442	100%
料理を作りすぎないように工夫する	779	54.0%	517	35.9%	64	4.4%	5	0.3%	38	2.6%	39	2.7%	1,442	100%
食品の捨てられがちな部分も料理に使う	246	17.1%	550	38.1%	459	31.8%	81	5.6%	50	3.5%	56	3.9%	1,442	100%
食べる予定のない食品は知り合いに譲る	164	11.4%	365	25.3%	323	22.4%	308	21.4%	220	15.3%	62	4.3%	1,442	100%
フードドライブなどに食品を寄付する	35	2.4%	59	4.1%	212	14.7%	657	45.6%	403	27.9%	76	5.3%	1,442	100%

N=1,442



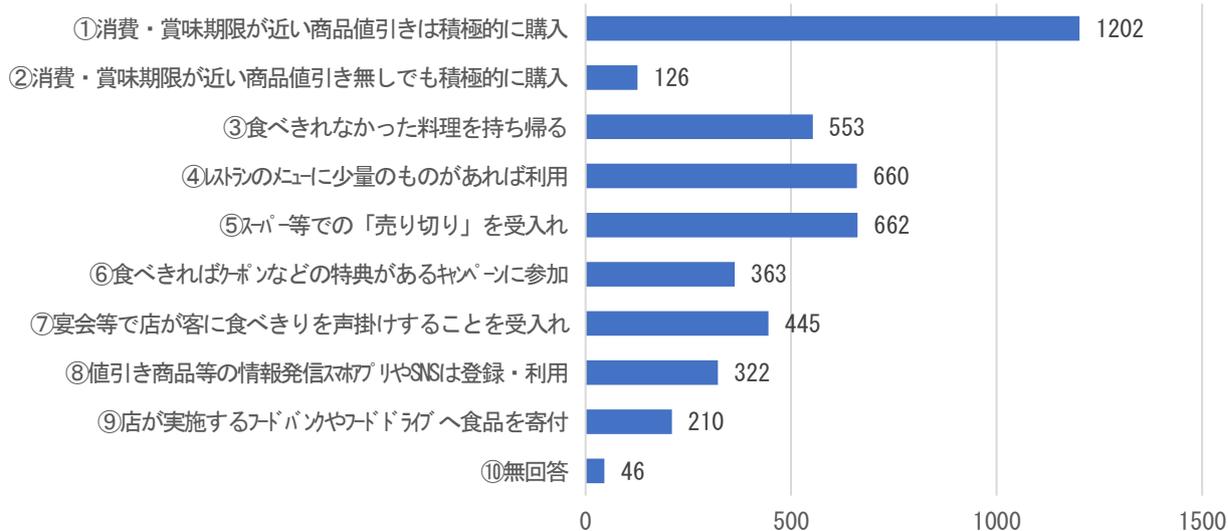
食品ロス削減の行動について、使い切りや食べきりの行動は比較的高い結果を示しているが、「食べる予定のない食品は知り合いに譲る」や「フードドライブ等に食品を寄付する」といった行動については低い結果となっている。

(3) スーパーや飲食店などの食品ロス削減の取り組みへの協力について

[近年、食品ロス削減の取り組みを実施している事業者も増えています。あなたが協力できると思うことを教えてください。あてはまるものをすべて選んでください。]

No.	設問	件数
1	消費期限や賞味期限が近い商品が値引きされていれば、積極的に購入する	1,202
2	消費期限や賞味期限が近い商品があれば、値引きがなくても積極的に購入する	126
3	食べきれなかった料理を持ち帰る	553
4	レストランのメニューに少量のものがあれば利用する	660
5	スーパー等での「売り切り」を受け入れる	662
6	食べきればクーポンなどの特典があるキャンペーンに参加する	363
7	宴会等で、店が参加者に料理を食べきるよう声掛けすることを受け入れる	445
8	値引き商品などの情報を発信するスマホアプリやSNSがあれば登録・利用する	322
9	店が実施するフードバンクやフードドライブへ食品を寄付する	210
10	無回答	46

N=1,442



事業者が実施する食品ロス削減の取り組みで協力できるものとして、「消費期限や賞味期限が近い商品については値引きされていれば積極的に購入する」という回答が最も多い一方で、「値引きがなくても積極的に購入する」は最も少ない結果となった。その他、「スーパー等での『売り切り』を受け入れる」や「レストランのメニューに少量のものがあれば利用する」も高い結果となっている。

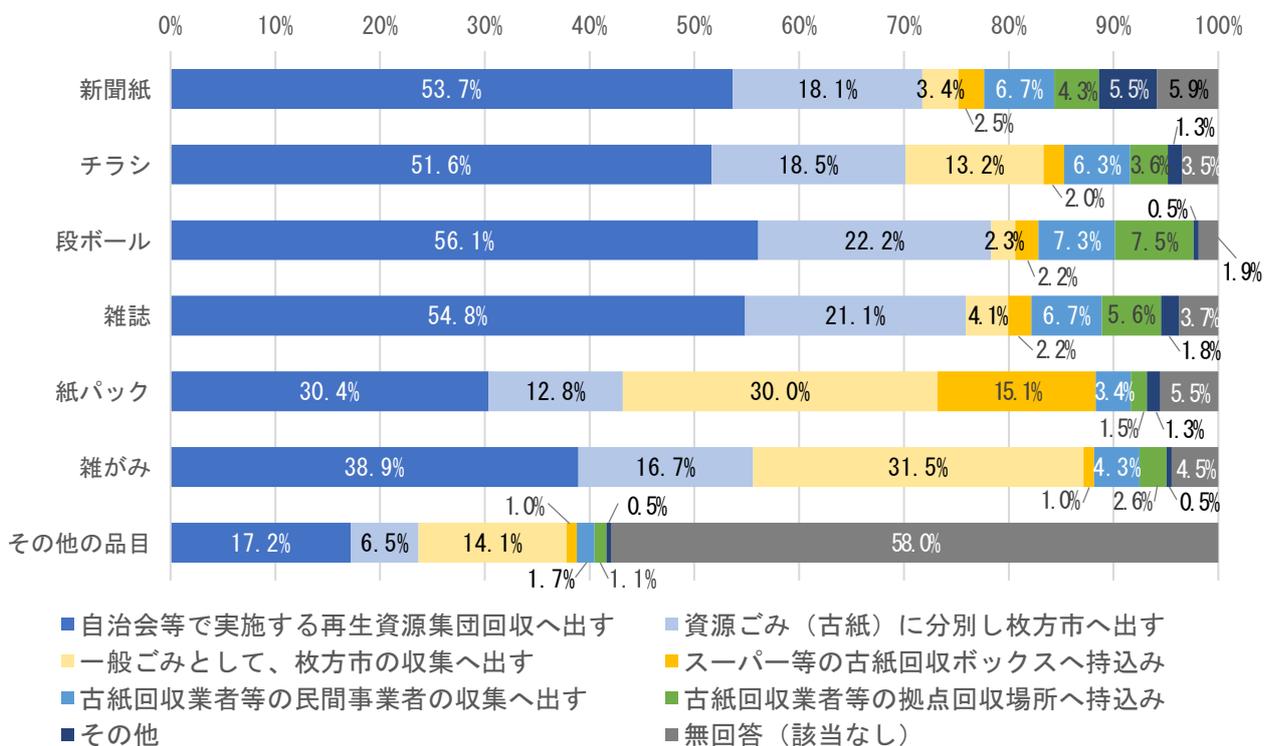
6 紙ごみについて

(1) 古紙の排出方法について

[あなたの古紙の排出方法について教えてください。]

	新聞紙	チラシ	段ボール	雑誌	紙パック	雑がみ	その他の品目
	件数	件数	件数	件数	件数	件数	件数
自治会等で実施する再生資源集団回収へ出す	895	846	952	903	477	647	264
資源ごみ(古紙)に分別し枚方市へ出す	302	303	377	347	201	277	99
一般ごみとして、枚方市の収集へ出す	57	216	39	67	472	524	217
スーパー等の古紙回収ボックスへ持込み	41	32	38	36	237	17	15
古紙回収業者等の民間事業者の収集へ出す	112	103	124	111	53	72	26
古紙回収業者等の拠点回収場所へ持込み	71	59	127	93	24	43	17
その他	92	22	8	29	20	8	7
無回答(該当なし)	98	57	32	61	87	74	889

N=1,442



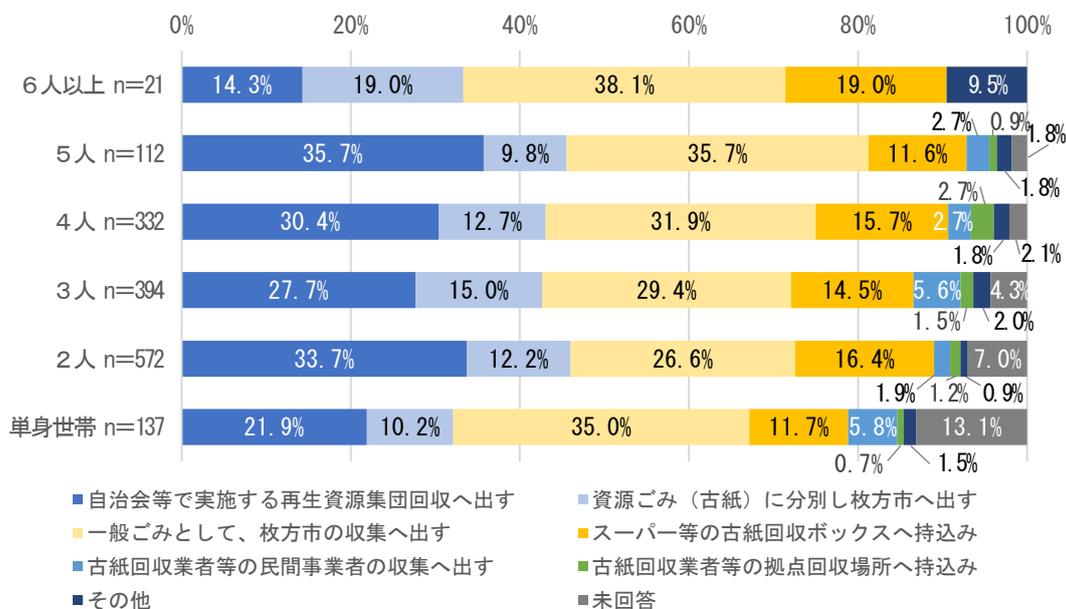
「新聞紙」、「チラシ」、「段ボール」、「雑誌」、「紙パック」、「雑がみ」の排出方法としては、いずれの品目でも『再生資源集団回収』へ排出する割合が最も大きい結果となった。

一方で、「紙パック」、「雑がみ」については『一般ごみとして、枚方市の収集へ出す』という割合も高い結果となっている。

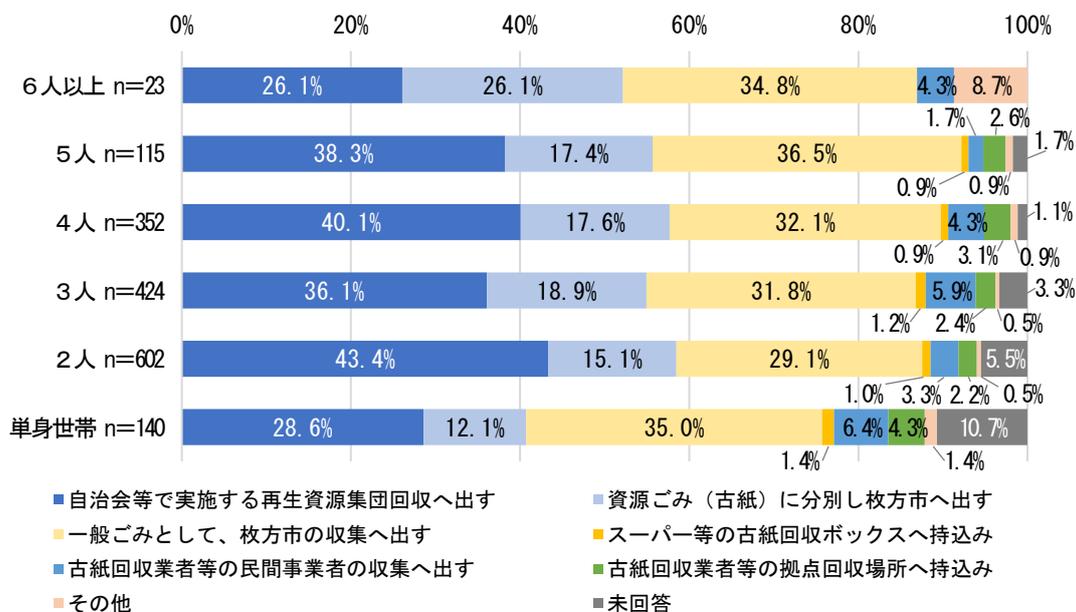
<世帯別クロス集計>

世帯別のクロス集計結果からみると、「紙パック」、「雑がみ」の排出方法を「自治会等で実施する再生資源集団回収へ出す」「資源ごみ（古紙）に分別し枚方市へ出す」と回答してリサイクルしている割合が、「単身世帯」では比較的、低い傾向となっている。

紙パックの排出方法



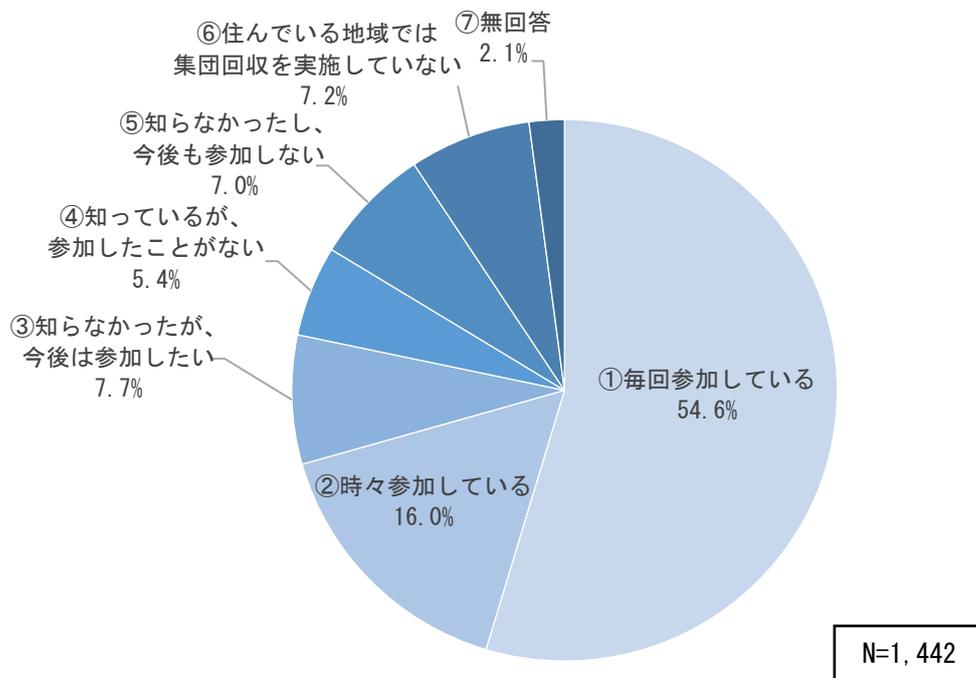
雑がみの排出方法



(2) 再生資源集団回収について

[お住まいの地域で行われている古紙等の再生資源集団回収に参加していますか。あてはまるものを1つ選んでください。]

No.	設問	件数	割合
1	毎回参加している	788	54.6%
2	時々参加している	230	16.0%
3	知らなかったが、今後は参加したい	111	7.7%
4	知っているが、参加したことがない	78	5.4%
5	知らなかったし、今後も参加しない	101	7.0%
6	住んでいる地域では集団回収を実施していない	104	7.2%
7	無回答	30	2.1%
8	合計	1,442	100.0%

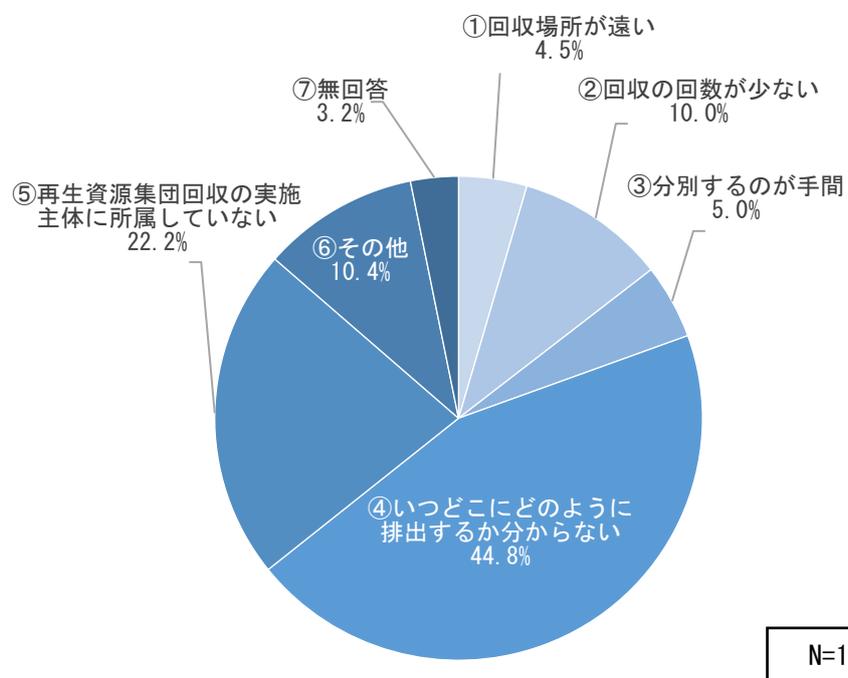


「毎回参加している」または「時々参加している」の割合が70.6という結果となっている。
また、「再生資源集団回収を知らなかった人」が14.7%いるという結果となっている。

(3) 再生資源集団回収を利用しない理由

[参加しない理由として当てはまることは何ですか。あてはまるものをすべて選んでください。]

No.	設問	件数
1	回収場所が遠いから	10
2	回収の回数が少ないから	22
3	分別するのが手間だから	11
4	いつ、どこに、どのように排出するのかが分からないから	99
5	再生資源集団回収の実施主体（自治会、子ども会など）に所属していないから	49
6	その他	23
7	無回答	7



その他の回答（一部抜粋）

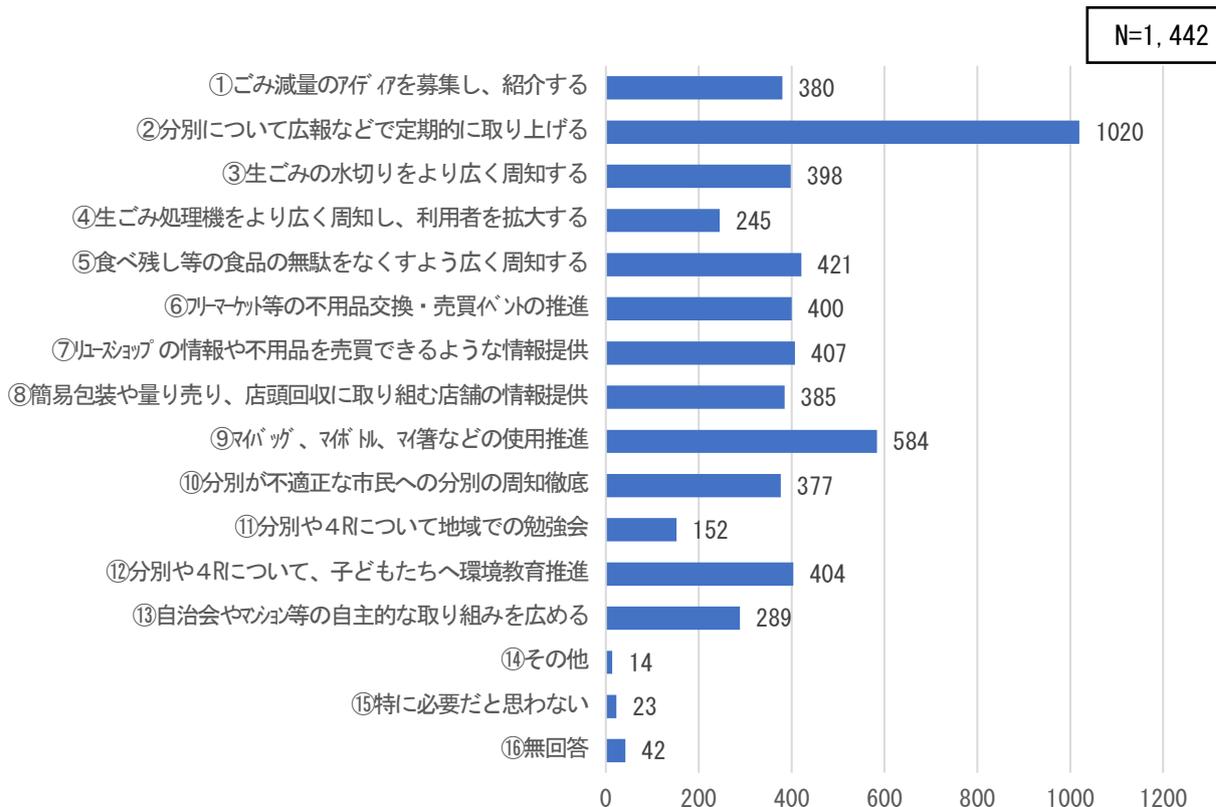
- ・枚方市の売却収入としてほしいから、行政回収へ出す
- ・民間の回収業者へ出すと、ビニール袋をもらえるから
- ・民間回収業者に取りに来てもらう方が便利だから

再生資源集団回収を利用していない理由としては、そもそも集団回収の実施場所等を認識できていないため参加していない回答者が多い結果となっている。

7 さらにごみの分別や4Rについて

(1) ごみの分別や4Rを進めていくために、どのような枚方市の施策が必要だと思いますか。あてはまるものをすべて選んでください。

No.	設問	件数
1	ごみ減量のアイデアを募集し、紹介する	380
2	分別がわかりにくいものを広報などで定期的に取り上げる	1,020
3	生ごみの水切りをより広く周知する	398
4	家庭で生ごみを処理できる生ごみ処理機をより広く周知し、利用者を拡大する	245
5	食べ残しなどの食品の無駄をなくすよう広く周知する	421
6	フリーマーケットなどの不用品交換・売買イベントを推進する	400
7	リユースショップの情報や不用品を売買できるような情報を提供する	407
8	スーパーなどで、簡易包装や量り売り、店頭回収に取り組む店舗の情報を提供する	385
9	マイバッグ、マイボトル、マイ箸などの使用を推進する	584
10	分別が不適正な市民への分別の周知を徹底する	377
11	ごみの分別や4Rについて地域での勉強会を開き、家庭での取組みを推進する	152
12	ごみの分別や4Rの必要性について、子どもたちへの環境教育を推進する	404
13	自治会やマンションなど、地域における自主的な取組みを広める	289
14	その他	14
15	特に必要だと思わない	23
16	無回答	42



ごみの分別や4Rを進めていくために必要な施策としては、「分別がわかりにくいものを広報などで定期的に取り上げる」ことと考える回答者の割合が最も大きい結果となっている。次いで「マイバッグ、マイボトル、マイ箸などの使用を推進する」ことが高い結果となっている。

(2) その他ごみに関するご意見がありましたら、ご自由にご記入ください。

【回答内容一部抜粋】

4 R 推進のための工夫に関するご意見

- 4Rに参加したら、ポイント付与や商品の割引が受けられるなど、お得度があれば、参加率は上がると思う。
- ただ、分別や減量に協力させるのではなく、協力したくなるような動機（協力するのが楽しみになるような）があればいいのではないのでしょうか
- 分別区分毎に色の違う指定ごみ袋を製作・配布する。
- 指定ごみ袋制の自治体が増える中、透明・白色透明であればごみ袋として使えるのはとても有難いし、無駄がなくて良い。是非とも継続してほしい。
- 自治会の廃品回収をもっと推進する（自治会に入っていない方もいるので）ポスターなど
- ゴミ分別のための AI サポートがあるといいかもしれません。
- 手間が掛かる施策は逆効果だと思う。
- フードバンク、いつもタイミングをのがすので回収日直前にお店が SNS 発信してくれると助かる
- 広報等、イベントなどで知らせるのも大切だと思います

ごみの分別方法に関するご意見

- 現在住んでいる地域が高齢化進み、ごみについての仕組みが複雑化すると対応困難の可能性大です
- プラスチックごみ等の分別方法がわかりにくい。
- 分別区分をさらに細分化すべき。
- 住民の利便性や負担軽減も考慮して、過度な分別推進は避けるべき。

ごみの不適正排出に関するご意見

- 分別のマナーが悪い方が多いです
- マンション、単身者マンション等のゴミの出し方が酷い。管理会社が厳しく指導していいと思う。散らかったゴミ、カラスの汚した後の片付けは、結局見かねた近所の住人や市のゴミ収集車の方が片付けている。
- ゴミを各家庭で個別に収集して欲しいです。分別されていないゴミはゴミ置き場に置いていかれます。地域の住民が有志で全部片付けています。ゴミのある日はいつもそのようなことをしています。負担が大きいです。

資源ごみ等の持ち去り行為に関するご意見

- 資源ごみの持ち去りが多い。取締り、罰則を強化してほしい。
- 缶のごみの日に自転車、バイク、車などで盗んでいる人がいます。粗大ごみの日も見られることもあるので嫌な思いになります。何か対策をしていただければ幸いです。
- 資源ごみの回収日に「持ち去り」が恒常的に発生しています。可能であれば巡回強化をお願いします。

リチウムイオン電池等に関するご意見

- リチウムイオン電池の回収場所をもっと増やして欲しいです。
- リチウムイオン電池を市の方で回収してほしい。捨て方・場所がわからないと困る。年をとって回収場所までいけなくなると困る。
- リチウムイオン電池製品の回収方法場所の周知が不十分だと思う。地図等もあればいい。
- リチウム電池がどういう商品に使用されているかもっと広く周知してほしい。

ごみ収集に関するご意見

- 粗ごみの回収を月2回にしてほしい。
- ゴミ回収が委託業者が変わってから回収時の扱いが乱暴に感じる時がある。毎回ではないがゴミ袋を投げ入れるので地面に散らばっていることがある。
- 一般ごみの午後収集が不便である。
- 空き缶・びん、ガラス類の収集日を増やしてほしい。

市民周知に関するご意見

- 分別したごみがどのようにリサイクルされているのか、また、異物が混入しているとどんな問題が起こるのかを具体的に示した周知を行うべき。
- 分別を進めることで、どんな目標の達成を目指しているのかが見えない。
- 情報の届きにくい世帯や転入者への周知を工夫して行ってほしい。

プラスチックごみに関するご意見

- 買い物をするとプラスチックごみがどんどん増える。店側にもプラスチックの使用をできるだけ減らす取り組みを期待します。
- 生鮮食品の個包装の廃止などは、プラスチックを代替することで衛生面などに悪影響があると、その対策によって、かえって環境に負荷をかけてしまうなどの課題が考えられるかと思います。
- レジ袋はごみ袋として再利用しているので、必要な分のレジ袋はもらいたいときがある。

食品ロス削減に関するご意見

- お店が実施するフードバンクを増やして欲しい。小さいスーパーにはあまりないように思う
- フードドライブで食品を寄付できる場所を増やして広報などで広めてほしいと思います

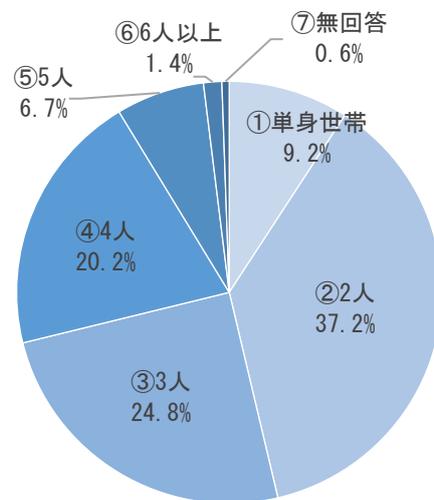
カラス等に関するご意見

- カラス対策のマニュアルのようなものがあれば知りたい。
- ごみ置き場の害獣対策の支援強化をお願いしたい。

あなたのことについて

(1) あなたの家の同居人数について、あてはまるものを1つ選んでください。

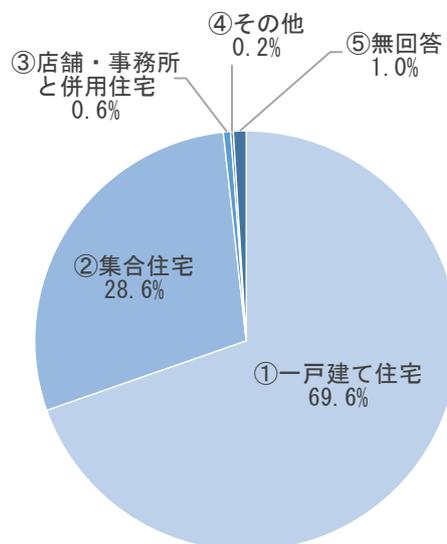
No.	設問	件数	割合
1	単身世帯	132	9.2%
2	2人	536	37.2%
3	3人	358	24.8%
4	4人	291	20.2%
5	5人	97	6.7%
6	6人以上	20	1.4%
7	無回答	8	0.6%
8	合計	1,442	100.0%



N=1,442

(2) あなたの家の住居形態について、あてはまるものを1つ選んでください。

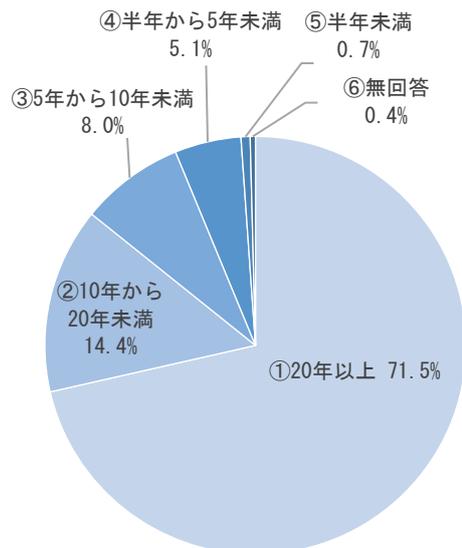
No.	設問	件数	割合
1	一戸建て住宅	1,004	69.6%
2	集合住宅	413	28.6%
3	店舗・事務所と併用住宅	8	0.6%
4	その他	3	0.2%
5	無回答	14	1.0%
6	合計	1,442	100.0%



N=1,442

(3) 枚方市にお住まいになられて何年になりますか。
あてはまるものを1つ選んでください。

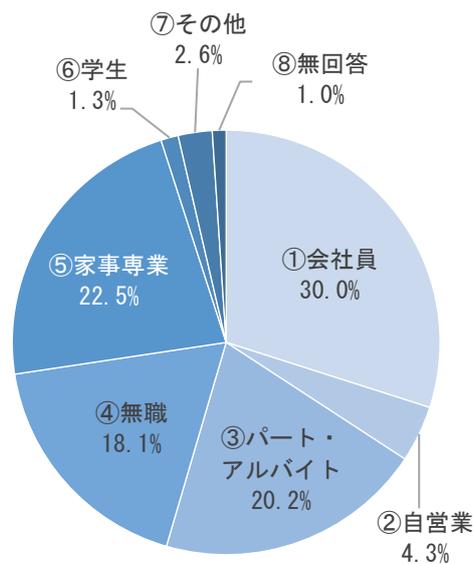
No.	設問	件数	割合
1	20年以上	1,031	71.5%
2	10年から20年未満	207	14.4%
3	5年から10年未満	115	8.0%
4	半年から5年未満	73	5.1%
5	半年未満	10	0.7%
6	無回答	6	0.4%
7	合計	1,442	100.0%



N=1,442

(4) あなたのご職業について、あてはまるものを1つ選んでください。

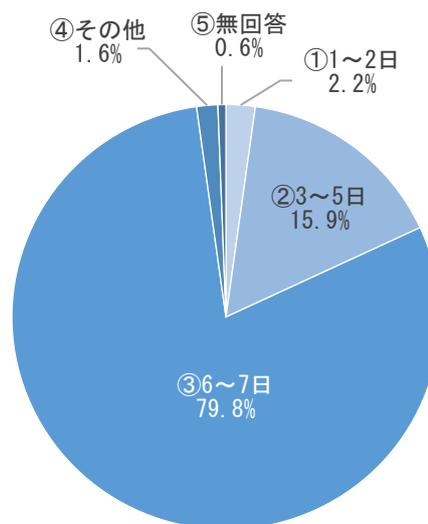
No.	設問	件数	割合
1	会社員（公務員を含む）	432	30.0%
2	自営業（農業等を含む）	62	4.3%
3	パート・アルバイト	292	20.2%
4	無職（家事専業を除く）	261	18.1%
5	家事専業	324	22.5%
6	学生	19	1.3%
7	その他	37	2.6%
8	無回答	15	1.0%
9	合計	1,442	100.0%



N=1,442

(5) ご家庭で料理したものを食べる機会はどれくらいありますか。
あてはまるものを1つ選んでください。

No.	設問	件数	割合
1	1週間のうち、1～2日	32	2.2%
2	1週間のうち、3～5日	229	15.9%
3	1週間のうち、6～7日	1,150	79.8%
4	その他	23	1.6%
8	無回答	8	0.6%
9	合計	1,442	100.0%



N=1,442